

水防災教育の重要性

水防災教育とは、水害に関する知識や心構えを持ち、減災のための準備をする能力を育成するための教育です。

近年、気候変動等の影響により、毎年のように全国各地で水害が発生しており、一人ひとりが水害から自らの命を守るための知識・能力を身につけることが大切です。

利根川上流河川事務所では、学校等に出向き、水害に対する注意点や日頃からの備え、心構えなど、防災・減災対策について講座を行っています。

令和7年度の実施事例

久喜市立栗橋南小学校では、利根川についての講義や洪水と避難方法をクイズ形式の講義を行い、自分が暮らす地域の洪水リスクについて深く知ってもらいました。

加須市立大越小学校では、利根川で起こった水害の歴史について講義を行い、水害に対する備えの大切さを学んでももらいました。



久喜市立栗橋南小学校（R7.6.10）



加須市立大越小学校（R8.2.19）